

小野上地区ハロウィーンパーティ 「トリック・オア・トリート！」仮装姿で公民館周辺を訪問



10月30日に小野上地区ハロウィーンパーティが行われ、仮装した子ども34人が参加しました。公民館で竹のランタンを作成した後、公民館周辺の駐在所や個人宅、小学校体育館などを訪問。地域の人と声を掛け合い、お菓子を受け取っていました。お手伝いの中学生を始め、生涯学習おのがみチームなど地域の各種団体が一体となって、子どもたちの夜の冒険を盛り上げました。



みんなの福祉事業所展 自主生産品の販売と活動内容パネルを展示



11月1日から5日まで、市役所本庁舎市民ホールで「みんなの福祉事業所展」が開催されました。市内で就労移行・就労継続支援などを行う10カ所の福祉事業所が、自主生産品の即売と、活動内容のパネル展示を実施。また、渋川特別支援学校中学部の富永量威さんが作成した、恐竜や動物の作品も展示されました。

子持地区生涯学習フェスティバル 日頃の活動の力作がずらり



10月28日から11月3日まで、子持公民館で子持地区生涯学習フェスティバルが行われました。今年は展示会として開催し、絵手紙や切り絵、竹細工、写真作品が出品。市老人クラブ連合会子持支部の活動紹介や子持地区の小中学生のポスター作品も展示され、地区の各団体などの活動成果を発表する機会となりました。

高源地そばづくりの会の収穫作業 自分たちの手で育てたソバの実を収穫

高源地そばづくりの会は、種まきから収穫、試食までの一連のそばづくりを、製粉を除いて全て自分たちで行うグループです。今年度は2,000㎡の農地でソバを栽培し、10月31日に収穫作業を行いました。代表者の大島アサ子さんは、「今年の作況は良好でした。今後もそばづくりを通じて地域の交流を深めていきたいです」と話していました。



津久田小学校のヒメギフチョウ現地学習会 校外授業でチョウの生育環境を学ぶ



10月20日に赤城町北赤城山地内で、津久田小学校ヒメギフチョウ学習会が行われました。4年生25人が、チョウの生息できる環境を学びながら、どんぐりの苗植えや保護を呼び掛ける手作り看板を設置。児童たちは、疑問に思ったことなどを講師に元気よく質問していました。また、遊歩道で動植物の痕跡を見つけて、シカなどが生息していることを実感していました。



渋川まちなかうたごえサロン 地域の活性化のため音楽で交流



10月23日、渋川駅前通り商店街内エッグホールで、中心市街地まちづくり市民サポーターが主催する渋川まちなかうたごえサロンが行われました。参加者は昭和・平成の名曲を生演奏に合わせて合唱。ゲスト出演したフラダンスチーム「プメハナ メ ケ アロハ」には、歓声とともに手拍子が送られ会場が盛り上がりました。

ぶちっと館外学習～森林浴と自然観察 秋の自然園で森林浴



10月25日、赤城自然園で、豊秋公民館の館外学習が行われました。参加者は、園内ガイドの話聞きながら、どんぐりや松ぼっくりに彩られた実り多い秋の森を散策。紅葉にはまだ早い時期でしたが、立派なモミジの木はこれから赤く色づく森を想像させ、参加者の期待感を高めていました。

おもいやり入浴着の普及啓発活動 誰もが温泉入浴を楽しめる観光地へ

10月24日に伊香保のだんだん広場で、手術痕がある人などが着用したまま入浴できる「おもいやり入浴着」の普及啓発活動を行い、伊香保温泉旅館協同組合婦人部の皆さんと協力して、観光客に啓発品を配布しました。啓発品を受け取った人へのアンケートでは、86%が入浴着のことを知らないと回答し、普及の必要性を感じる結果となりました。

